

目次

□巻頭言 21世紀への「まちづくり」	八田 晃夫	/ 1
<small>のがし さわ</small> 東の沢ダムの施工	熊谷 輝雄 千葉 博	/ 3
<small>くまうし</small> 熊牛水力発電所建設工事の概要	岡田 剛	/ 11
川越火力発電所 ガス導管用トンネル工事の概要	金谷 嘉久 玉木 勝平	/ 15

グラビヤ—KST 臨海杭打工夫

臨海杭打工夫 (KST 工法) の開発	富源 永眞 小 波 修 城 一郎	/ 21
着座けん引式捨石ならし工法の開発	中島 武男	/ 27
かき殻破碎散布工法 (KHS) の概要	梅本 陽出雄	/ 32
□随想 水分と振動のいたずら	新開 節治	/ 38
水中スタッド溶接工法による 栈橋鋼管杭補強工事	高田 清 西 川 豊	/ 40
繊維強化複合材料の現状	中田 栄一	/ 45
ビルマ・ランゲーンのツワナ橋工事・竣工報告 —ビルマ橋梁技術訓練センター プロジェクトの現場実地訓練—	藤原 稔 高田 志郎 河野 孝伸 森 樹	/ 52
昭和60年度建設機械展示会 (高松) 見聞記	芹澤 富雄	/ 56
ISO/TC 127 ベローナ国際会議報告	I S O 部 会	/ 60

◀表紙写真説明▶

KST 臨海杭打工夫

川崎製鐵株式会社
清水建設株式会社
東亜建設工業株式会社

本工法は従来のトラベラパイリング工法の特長をいかしたうえで、さらにその施工性能を向上させるために杭の保持・位置決め方法と全方向への斜杭の打設、アウトリーチの拡大等の改善に重点をおき開発したものである。特長としては施工が海象条件の影響を受けず、高稼働率が確保できること、全方向±20°の斜杭打設が可能なおよび杭打設精度が著しく向上すること等がある。

◀主な仕様▶

対象杭：杭径 φ800~1,200
杭長 50m
斜杭 全方向 ±20°
使用ハンマ：全機種使用可能
打設精度：直杭 ±5cm 以内
斜杭 ±1° 以内

□新工法紹介		
剛体地中壁工法/DJW 工法/GEO-S 工法	調査部 会	/ 67
□新機種ニュース	調査部 会	/ 70
□文献調査		
建設機械トピックス	文献調査委員会	/ 76
□ISO 規格紹介		
土工機械に関する ISO 標準規格 (10)	I S O 部 会	/ 79
□整備技術		
建設機械メカトロニクスの整備 (第5回) 温度センサ	整備部 会	/ 81
□統 計		
建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部 会	/ 84
行事一覧		/ 85
編集後記	(福崎・杉本)	/ 88